

八戸

「考えるプレーを」 NBA解説者が指導 バスケットボールの楽しさを広げるとともにレベルアップを図ろうと、八戸市の八戸学院大学と自動車教習所の三八五オートスクールは4～6日、市内でバスケットボールの巡回クリニックを開いた。参加者は講師の専門家から、プレーの水準を引き上げる専門的な練習の一端を学んだ。

米プロバスケットボールNBAの解説者として知られる塚本清彦さん、NPO法人山形ベスラベナバスケットボールクラブ代表理事の山本健一さんが、各県大会で上位に入る市内の中学、高校、大学のチームを指導。チーム関係者以外にも

公開し、多くの愛好者が会場を訪れた。

4日は八戸西高校で男女バスケットボール部の約50人を指導。塚本さんは「バスケットは考えながらやらないとうまくならない」と強調し、フィジカルトレーニングや戦術とリンクした実戦練習などをてきばきと教えた。シュート練習では「入れようと思うと弾道が下がる。リングを見ないでアーチを上げて」などと指導。部員はもちろん、見学に訪れた他校の生徒らも真剣に耳を傾けていた。

塚本さんは取材に「例えば(相手の移動を制限し味方を助ける)スクリーンプレー強化へ空間認識力を高めるなど、U18(18歳未満)で身につけるべきことを学んでほしい」と話した。

八学大は今後、ミニバスケットボールや指導者向けクリニックなどの開催も検討するとい

う。



塚本さん(中央)の指導に聴き入る八戸西高バスケット部の部員たち。左から2人目は山本さん

同大バスケット部の橘勇佑ヘッドコーチは「専門家の指導を通して本県全体の競技レベル向上を目指したい」と意欲的だった。(若松清巳)